



いすぐみだより



令和5年3月1日

厳しい寒さも日に日に和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

1歳児の年間目標は「自分で」という気持ちを育てる」を、ひとりひとりの育ちを見ながら取り組んでまいりました。衣服、靴下の着脱、食事、簡単な身の回りのこと、生活の中の様々なことを保育者と一緒に経験し、日々積み重ねていくことで自分で「やってみよう」と行動する姿が増えてきました。始めは一人でできない事が多く、大きな声や泣いて訴えていたこともありましたが、今では「自分で」やってみようと行動をし、一人でできることに自信を持っています。どうしてもできないときは、仕草や言葉で「できない」、「てつだって」と自分の思いを仕草や言葉で伝えています。保育者だけでなく、子ども同士でも遊びの中で自分の思いを伝えようとする様子も見られてきました。友だちとの関わりでは、玩具や絵本の取り合い等、トラブルも同じありますが、友だちの名前を呼びかけ、同じ遊びをしようと誘い合う様子や広げた絵本を一緒に見ている様子は微笑ましい場面を見せてくれています。一緒に生活をしていく中で友だちと関わる楽しさや嬉しさを感じているようです。

いすぐみとして残り1か月、保育者、友だちとのやり取りや関わりをもち、楽しく過ごして参ります。

保護者の皆様には、たくさんのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。至らない点が多かったと思いますが、元気な子どもたちと一緒に過ごせたことを嬉しく思います。1年間ありがとうございました。



〈 今月のねらい 〉

- ・「自分でやりたい」気持ちが膨らみ、身の回りのことに興味を持って、自分でしようとする。
- ・見立て遊びやつもり遊びをする中で、言葉や仕草でやり取りをする。

〈今月の活動〉

- ・散歩(本町公園・徳石通り南広場など)
- ・本園交流・体操・巧技台・製作・お絵かき
- ・粘土・楽器遊び、うたあそび

●自我の芽生え●

なんでも「イヤ」のイヤイヤ期にさしかかっている子どもたち。園では出来ているのに、何で家ではしてくれないの?と、保護者の方から話を伺うこともあります。お互いに気持ちが伝わらず、お母さんのモヤモヤやイライラが伝わってしまい、ごねてしまう日が多々あるかと思います。「いやいや」は、成長の過程の大事な一つでこの時期を経て子どもの内面は更に成長します。親の忍耐も試されると感じるとは思いますが「今しか見られない我が子の姿!」と前向きに捉え、お休みの日等に少しだけ時間を作って、子どもにじっくり付き合ったり、「ちゃんと見ているよ」ということを伝えることで、子どもは安心します。お休みの日は親子共々ゆったりと過ごしてみてください。

